



仙台市太白山自然観察の森 情報誌

2021



のおくりもの

9

The Gift from Woods

No.360

ナツアカネ（トンボ科）



【写真 レンジャー：木田秀幸】

今年の夏は真夏日と雨の日が多く、野外活動には不向きな日が続きました。

さらに、「森のおくりもの9月号」が発行される頃は、宮城県において新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言が発令中で、太白山自然観察センターは臨時休館となっています。

自然観察センターでは、スズムシの飼育・展示を行っており、スズムシの奏でるハーモニーが最盛期を迎えようとしています。

残暑が終わり、緊急事態宣言が解除されましたら、センターにお越しいただきスズムシの音色で心のリフレッシュはいかがですか。

【館長：川上正博】

# 森のことは

自然の様子や出来事を四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします。

## 『後の祭り』(あとのまつり)

梅雨が明けてしばらくは晴天が続いて厳しい暑さでしたが、前線の影響により8月8日から11日間も雨の日が続き、梅雨が戻ってきたような天気でした。その間は真夏とは思えないほどの涼しい気温になりました。この長雨について気象の解説を見ると、立秋を過ぎたら梅雨とはいわないので時期的には秋雨ということになりますが、気圧配置は秋雨よりも梅雨末期に似ているということで、秋雨前線と言わず停滞前線としていました。

その後、不安定な空模様ながらも暑さがぶり返しましたが、一番暑いはずの時期に低い気温と雨で、夏ならではの楽しみができなかったのではないのでしょうか。「手遅れなこと。物事が時機を外して無益なものになってしまい、取り返しがつかないこと」を『後の祭り』といいます。子どもたちにとっては、暑さが戻っても時すでに遅し、夏休みが終わる頃で「もう後の祭りだよ!」という気持ちになったのではないかと思います。

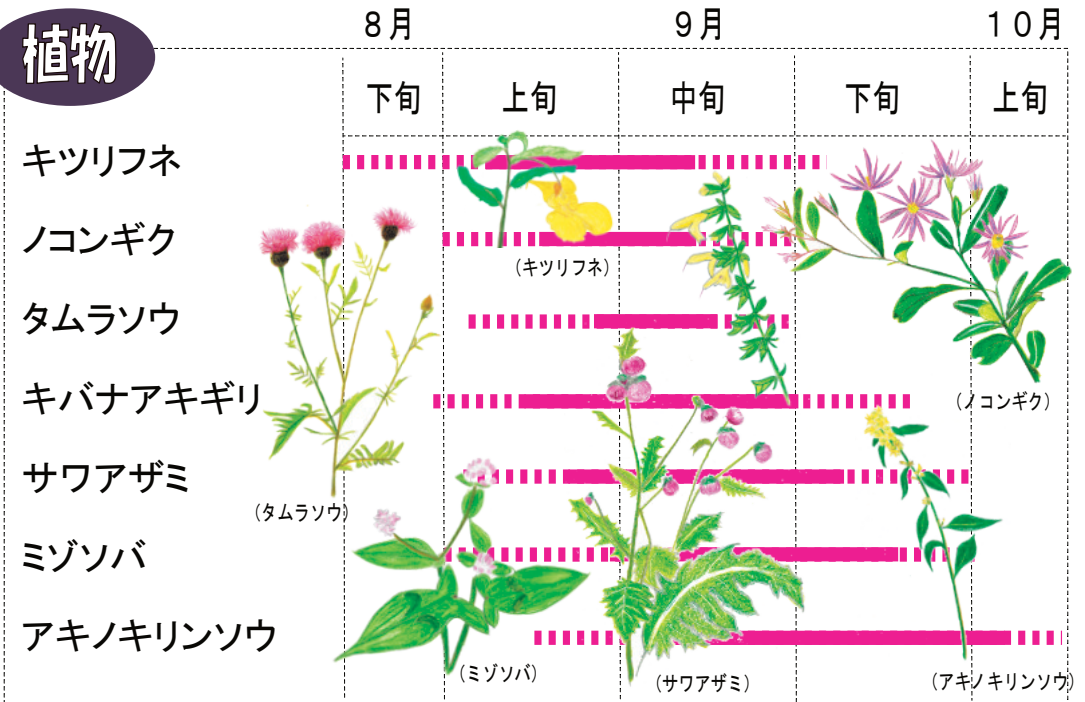
この長雨で森が潤い、キノコにはいい環境になったようで様々なキノコが発生し、特に鮮やかな赤色が美しいタマゴタケがあちらこちらで一斉に出現して“タマゴタケ祭り”が賑わっていました。キノコの発生時期には、季節性があります。果たして、キノコたちはこの天気を梅雨と秋雨のどちらと判断したのでしょうか。9月に入り、秋雨前線による本来の秋の長雨の時期になりましたが、頻りに長雨が続き、キノコたちも戸惑ってしまうかもしれません。

これから台風シーズンですので風水害が心配されます。最近、以前はなかったような異常気象による災害が各地で多くなっています。地球温暖化の影響による気候変動、自然破壊や生物の絶滅の危機など、様々な問題がありますが、原因の一つが人間の社会活動にあります。失われたものは元に戻せないのです。“後の祭り”とならないようにと思います。 【レンジャー：新田隆一】



# 9月の生物ごよみ

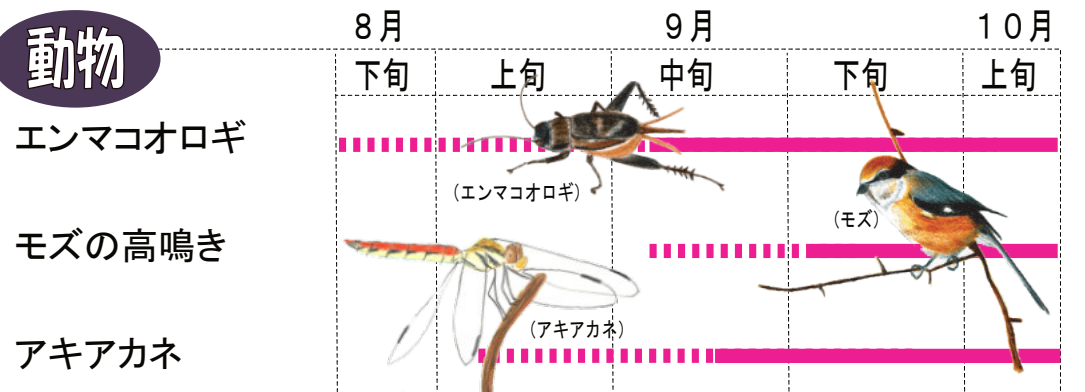
## 植物



8月21日の午後、『であいの道』を歩いていると樹木にたくさんのニホンミツバチが集まっているのを見つけました。これは分蜂といってミツバチの巣別れ(引っ越し)のことです。前の巣が大きくなってひとつの巣に新しい女王蜂が産まれると、古い女王蜂は働きバチを半分ほど連れて集団で引っ越しをします。ミツバチが巣を作る場所は樹洞などの閉鎖空間なのでこれは引っ越しの最中、一時的にとどまっている状態なのです。しばらくして巣に適した場所を見つけると移動してしまいます。ミツバチの分蜂時期は普通5月から6月が多く、これは夏分蜂といって私が見たのは初めてです。周りにはスズメバチが飛んできてミツバチたちをおびやかしていました。早めに新しい住処を見つけてほしいと願うばかりです。

【レンジャー: 齋 正宏】

## 動物



# 森の「あれこれ」



## 「天女と芸者と」



「ハゴロモ」と聞いて何を連想しますか？

私は昔ばなしの空を自由に天女が羽織っていた衣が真っ先に思い浮かびます。今回はそんな優雅な名前の10mm前後の昆虫についてです。

自然観察の森では3種のハゴロモの仲間が見られます。写真①はスケバハゴロモ（透翅羽衣）。その名の通り透明に透けた翅がガラス細工のようにめっちゃ綺麗で、見つけるとずっと見入ってしまいます。あ！左下に幼虫の抜け殻がありますね。もしか、ここで脱皮したのかも。



その左下②はベッコウハゴロモ（鼈甲羽衣）、③はおなか側から見たところ。精密な顔がまるで小さなセミそっくりに見えませんか？、ハゴロモがセミなどに近い仲間であることがわかります。

④がアオバハゴロモ（青葉羽衣）前の2種が翅を開いてとまるのとは違い、翅を閉じ（立て）ています。実は、私はこの種を観察の森であまり見た記憶がなく、今年市道のヤマグワに数匹を確認しました。ちなみに自宅の庭のウドには毎年鈴なりに出現します。この小さな昆虫の仲間はちょっとした緑地で見つかるかもしれません、勿論観察の森でも探して下さい。



そうそう、このアオバハゴロモ、実は学名（世界共通の名前）がGeisha distinctissima。なんと「芸者」と命名されています。淡い緑に薄く紅をさしたようなあでやかな姿に、また見とれています。

【レンジャー：木田秀幸】

# 森は糸 森は布

森は様々な生き物が互いにつながって  
森として生きているんですね (\*\_\*)

今年はクリではなくミズキの幹に産みつけられているクスサンの卵をみつけました。クスサンはクスにつく蚕の意味でクスサン、ヤマムギ科の大型のガです。4月にふ化したばかりの7匹を飼ってみることにしました。終齢まで生き延びたのは2匹ですが、脱皮するたびに白い毛で覆われる姿が愛らしく、その毛をなでながら繭になるまでの時間を楽しく過ごしてきました。(^^♪

卵で越冬し、4月22日にふ化しました。脱皮し、1cm位の毛虫に

6月30日には終齢幼虫に。まさに「白髪太郎」の姿になりました。腹部の青い点は気門です。

7月11日に繭づくりが始まり、翌日には葉で筒まれた中にあみあみの繭が作られていました。

手のひらサイズの大きなガですがアップで顔を見るとモフモフのかわいい姿が。触覚の形から雌だとわかります。

羽化すると後翅の目玉模様が素敵ですね。

観察センターのクスサンは、現在繭の状態です。順調にいけば9月から10月ごろに羽化するものと思われます。終齢になるころの食欲はすさまじく、枝を丸坊主にするぐらいの勢いだったのですが、繭になる前（蛹化）の段階からエサもふんもせず今に至っています。繭づくりの最初に近くの葉を口から吐いた糸で覆って囲いを作り、その中で繭づくりを始めるようです。あみあみの繭は基本的に絹糸と同様ですが、強度があり、出来立ては黄緑色で美しく、まさに芸術品。それにしてもどのようにしてこのあみあみを編んだのでしょうか。この隙間を狙って寄生バチに卵を産みつけられないように祈るばかりです。写真にあるようなもふもふをぜひ見てみたいですね！(^^♪【レンジャー：菅原幸彦】

# 9月のイベント & お知らせ

イベント



## 臨時休館のお知らせ

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令に伴い8月30日(月)から9月12日(日)まで休館となり、その期間中のイベントはすべて中止となります(施設は閉まりますが電話対応は行いません)。それ以降の施設の開館やイベントについても変更となる場合がありますので、観察の森のブログ等でご確認お願い致します。

◆9月11日(土) 森のアート観察会「クモの巣ウォッチング」⇒中止

◆秋色の森の自然あそび

草花など自然を素材にした遊びを楽しみ、秋ならではの森に親しみます。

【日時】9月25日(土) 10:00~12:00

【対象】5歳以上の子どもとその保護者 【定員】10名

【持ち物】飲み物、虫よけ、雨具、帽子、歩きやすい服装と靴で

【申込み】9月8日(水)9時から電話にて(先着)

◆きのこ観察会

専門家と秋の観察の森を歩きながらキノコを観察します。

【日時】10月2日(土) 10:00~11:30

【対象】小学生以上 【定員】15名

【持ち物】飲み物、虫よけ、雨具、帽子、歩きやすい服装と靴で

【申込み】9月9日(木)9時より電話にて(先着)



◆落ち葉でヒコーキをつくってとばそう!

葉っぱでヒコーキをつくってとばして遊びます。

【日時】10月9日(土) 10:00~11:30

【対象】小学3年生 【定員】10名

【持ち物】飲み物、虫よけ、雨具、帽子、歩きやすい服装と靴で

【申込み】9月8日(水)9時から電話にて(先着)

ガイドウォーク

毎週日曜日開催  
申込み不要、どなたでも参加できます

開催日:(5日,12日は中止),19日,26日  
時間:10:00~11:30、13:30~15:00

休館日

(~12日迄休館)13日,21日,27日  
※毎週月曜日休館、月曜日が祝祭日の場合はその翌日

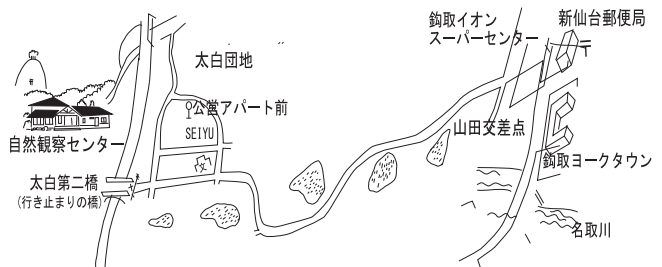
## 観察の森へのアクセス

### 宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
  - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
  - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【先行】①②③「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車  
※③のみ「太白団地、山田自由ヶ丘經由山田南ニュータウン行」  
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。  
駐車場から徒歩5分でセンター



〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63  
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター